

ほしの高志の道政通信

この通信は、郵送・全戸・街頭配布をおこなっています。星野高志事務所/札幌市東区北24条東8丁目/電話750-5277

84%の道民「原発依存減らすべき」

脱原発北海道を

道は、定期的に道民意識調査を実施。年末に行われた調査では、原発やエネルギーの地産地消について聴く項目がありました。

星野道議は年末のエネルギー委員会調査結果について質疑しました。その結果、原発は、

「すぐにやめるべき」が17%。「将来的にやめるべき」が36%。「可能な限り減らすべき」が31%と、原発に依存しない北海道を全体の84%の道民

「原発は非地産地消」 エネ室長が明言

調査項目には、エネルギー

が求めていることがわかりました(四捨五入)。こうした数字に道議は「一日も早い脱原発北海道をつくりたい」と意を強くしています。

ギアの地産地消について問う項目もあります。エネルギーの地産地消とは、太陽光や風力、地熱や火力など、地域に存在する資源で発電し、地域で消費するということです。

これについても、「加速して進める」と「時間をかけて進める」を合わせて明言しました。

星野道議は、「道民の声を踏まえしっかりと進めるべき」としたうえで、「地産地消に適さない電源は何か」と問いました。

エネ室長は、「それは原子力発電です」と明言しました。



星野道議の議会におけるライフワークは、エネルギー問題です。脱原発北海道を目指して、様々な議論を続けています。

皆様、お元気に2018年を迎えられたことと存じます。

私の任期も今年の3月で残すところ1年となります。地域の多くの皆様に支えられてこそ、ここまでこられたと、改めて感謝申し上げます。

昨年は、初当選以来取り組んできた北海道みんなの日(道民の日)を議員提案で制定することが出来ました。7月17日です。探検家の松浦武四郎氏が北海道と命名した日です。これを単なる記念日にとどまらず、道民であることに誇りを感じ、北海道の魅力にさらに磨きをかける、未来への扉を開ける日としたいと思っています。

仲間と共に制定した「北海道地球温暖化防止条例」も今年で9年目になります。深刻な温暖化に対応するため、見直しも含めて今年もしっかり対応する決意です。

変わらぬご指導をお願い申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

2018年1月

北海道議会議員

星野高志

水素を「固体」で貯蔵輸送

高圧・超低温などの条件も不要

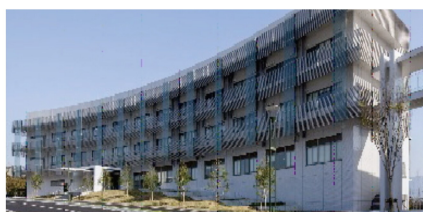
道議は、経済委員会の一員として「九州大学水素エネルギー国際研究センター」を視察してきました。

水素ポンペは不要

太陽光や風力で発電した電気を直接使わず、その電気で水を電気分解し水素を取り出す方法は、不安定な再生可能エネルギーを安定化させるものとして、注目されています。

す。水素は燃料電池車の燃料として使われたり、水素発電でクリーンエネルギーを創り出すことも可能だからです。

九州大学では、水素に関する研究開発が、世界のトップレベルを目指して展開されています。



1万5千㎡の実験研究エリア(写真はその1つ)に3百人の研究者

目を見張るのが、貯蔵と輸送に関する研究です。

水素をタンクやポンペに詰めて運ぶのではなく、

九州大学

水素化合物を生成し、固体として貯蔵輸送するというのが、この「計画」に基づいて、より軽く、よりコンパクトな水素化合物を求めて、研究開発が進められています。

科学技術は財産

道は、今年から新しい

勘違いしやすい二つの標識 切り離し工事が終了

交通事故防止に一役

北6東8

夏の道政通信でお知らせした「勘違いしやすい標識」の訂正工事が年末に終わりました。北光線を南進した場合、ホクレンホームセンターし、曲がったところで罰

「科学技術振興計画」を富な水資源を有しており、研究開発の適地なのです。道議は、「他の都府県をはじめ、アジア各地からも注目されるような、最先端の研究が行われるよう、今回の視察成果を踏まえ、活発な議会議論をおこなっていききたい」と話しています。

と話しています。

金7千円を支払うケースが多発していたのです。



After



Before

2つの標識が並んでいたため、勘違いする市民もいた場所

安倍政権を倒すことを目指した総選挙でしたが、民進党の分裂で立憲民主党、希望の党、無所属に分かれた、複雑な選挙となりました。

北海道選挙対策本部(民進党、連合など)で構成は、元民進党議員は、



松木けんこう前衆議

藤原・篠田・成田は、民進党北海道及び連合北海道の決定に基づき、松木選挙に全力を挙げた次第です。

今後も、松木さん応援

星野高志

域に根ざした活動を続けて参ります。

さて、松木けんこうさんは、次の総選挙に向けて活動を再開して

これは大きな財産です。私は、民主党時代以来の信念である「国民の生活が第一」をこれからも貫きます。この

私は今後とも、そういう松木けんこうさんを応援して参ります。

道議略歴

1951年…東京都葛飾区で生まれる
1970年…東京都立大理学部(物理)入学
1974年…緑の大地に憧れ来道
1975年…市営地下鉄南北線運転士
1995年…北海道議会議員初当選
2002年…議会エネルギー委員会委員長
2004年…民主党北海道幹事長

2007年…議会経済常任委員会委員長
2008年…環境プロジェクト長
2011年…脱原発プロジェクト長
2013年…道民の未来プロジェクト長
2015年…道議6期目当選
現在…東区民進党代表
民進党第2区総支部代表